

2008/5/8

「産業保健おいた」メルマガ版(HTML) 第41号

ホームページ <http://www.oita-sanpo.jp/>

I N D E X

■ TOPICS

「行政不服審査法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律案(労働基準法、労働者災害補償保険法及び労働保険審査官及び労働保険審査会法の一部改正関係)要綱」についての労働政策審議会に対する諮問及び答申について

■ 今月の Key Word

【五月病】

■ 労働衛生事例

- ・有機溶剤による中毒等 (トルエン)
- ・その他の化学物質による中毒等(臭素)

■ 研修・セミナーのご案内(5月・6月)

■ 新着情報

新着図書のご案内

■ 所長からのメッセージ

「新入社員の皆様へ」

---

■ TOPICS ■

「行政不服審査法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律案(労働基準法、労働者災害補償保険法及び労働保険審査官及び労働保険審査会法の一部改正関係)要綱」についての労働政策審議会に対する諮問及び答申について

1 厚生労働省は、本日、「行政不服審査法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律案(労働基準法、労働者災害補償保険法及び労働保険審査官及び労働保険審査会法の一部改正関係)要綱」を労働政策審議会(会長 菅野 和夫 明治大学法科大学院教授)に別紙1(PDF:295KB) のとおり諮問し、同審議会労働条件分科会労災保険部会(部会長 平野 敏右 東京大学名誉教授)において審議が行われた結果、同審議会から厚生労働大臣に対して、別紙2(PDF:52KB) のとおり答申が行われた。

2 厚生労働省としては、この答申を踏まえ、今後、関係法律の改正に向けて、所要の準備を行うこととしている。

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2008/04/h0408-1.html> (厚生労働省ホームページ)

---

## ■ ■ 今月の Key Word 【五月病】 ■ ■

五月病(ごがつびょう)とは、新人社員や大学の新生などに見られる、新しい環境に適応出来ない事に起因する精神的な症状の総称である。4 月には新しい環境への期待があり、やる気があるものの、その環境に適応出来ないでいると人によってはうつ病に似た症状がしばしば5月の連休明けに起こる事が多い事からこの名称がある。

「さつきびょう」は誤読。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BA%94%E6%9C%88%E7%97%85>

出典:フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』より1部引用

最終更新 2008年4月20日(日)14:29

---

## ■ ■ 労働衛生事例 ■ ■

### 労働衛生事例(2例—平成18年—)

例1:有機溶剤による中毒等

【有害要因】

トルエン

【業種】

一般機械器具製造業

【発生月】

5月

【被災者数】

中毒1名

【発生状況】

中古機械の洗浄作業に当たり、当初は屋内での作業を予定していたものの、やむをえず組立工場内において作業を行うこととした。機械の内側に入り扇風機を2台動かしながら防じん用簡易マスクを装着して、トルエンを使用して洗浄作業をしているときに、有機溶剤中毒になった。

【発生原因等】

- ・非定常作業における作業標準不徹底
- ・作業主任者作業指揮不十分
- ・換気不十分
- ・呼吸用保護具選択不適切(防じん用簡易マスク使用)

---

例2:その他の化学物質による中毒等

【有害要因】

臭素

【業種】

化学工業

【発生月】

5月

【被災者数】

中毒54名

### 【発生状況】

臭素貯蔵ドラムの配管点検工事において、臭素供給システムの計装空気のドラムへの送気開始時に、ドラムの後流にあった緊急逃がし弁が復電により自動的に開いており、さらに仕切板がなく、緊急逃がし弁から除外塔への配管を外していたため計装空気が漏えいし、付近にいた被災者らが避難できずに計装空気中の臭素を吸入したものの。

### 【発生原因等】

- ・関係事業者間の連絡調整不備
- ・作業手順確認不備(緊急逃がし弁の挙動把握漏れ)
- ・緊急時の避難体制不備

---

## ■ ■ 研修・セミナーのご案内(5月・6月) ■ ■

※赤い字で表記されました日時・会場は、変更になっています。ご注意ください。

### ■ 産業医研修

#### ▽5月20日(火)

時間: 18:30~20:30

会場: **大分県消費生活・男女共同参画プラザ「アイネス」2階 大会議室**

「脳心臓疾患における労災認定事例」 和田 秀隆(特別相談員)

★単位数 基礎研修:後期 2 生涯研修:専門 2

#### ▽5月31日(土)

時間: 13:00~15:00

会場: 大分県南地域産業保健センター (佐伯市医師会)

「作業環境管理の基礎知識~ホルムアルデヒド等有害物質の管理を中心に~(実習)」

田吹 光司郎(基幹相談員)

★単位数 基礎研修:実地 2 生涯研修:実地 2

#### ▼6月13日(金)

時間: 18:30~20:30

会場: 大分産業保健推進センター 会議室

「特定健診と特定保健指導」 谷口 邦子(基幹相談員)

★単位数 基礎研修:前期 2 生涯研修:更新 2

#### ▼6月25日(水)

時間: 18:30~20:30

会場: 大分産業保健推進センター 会議室

「高脂血症の管理」 木下 昭生(基幹相談員)

★単位数 基礎研修:後期 2 生涯研修:専門 2

産業医研修のページ

[http://www.oita-sanpo.jp/H20\\_training/H20\\_doctor.htm](http://www.oita-sanpo.jp/H20_training/H20_doctor.htm)

受講お申し込みはこちらからどうぞ

<http://www.oita-sanpo.jp/mail/kenshu.cgi>

=====  
■衛生管理者・安全衛生担当者・事業主・看護職等研修

時間:14:00～16:00

会場:大分産業保健推進センター 会議室  
=====

▽5月12日(月)

「労働衛生行政の動向」 安倍 正之(外部講師)

▽5月21日(水)

「職業ストレスとメンタルヘルスケア」～ストレスの測定と対処～ 上野 徳美(基幹相談員)

▽5月27日(火)

「自殺の危険への対応の実際」(第2次予防・インターベンション) 渡嘉敷 新典(基幹相談員)

▼6月4日(水)

「リスクアセスメントの進め方と演習」～リスクアセスメントの必要性、基本的手順、演習～  
田吹 好美(基幹相談員)

▼6月9日(月)

「なぜ、今、メタリックシンドローム対策が急がれるのか」 青木 一雄

▼6月17日(火)

「自殺発生後の対応の実際」(第3次予防・ポストベンション) 渡嘉敷 新典(基幹相談員)

▼6月20日(金)

「メンタルヘルス」メンタルヘルス対策としてのパワハラ・セクハラ問題にどう対処するか～  
三角 順一(大分産業保健推進センター 所長)

▼6月30日(月)

「有機溶剤使用職場のリスクアセスメント」(某企業診断の具体的実施例)古庄 義彦(特別相談員)

衛生管理者・安全衛生担当者・事業主・看護職等研修のページ

[http://www.oita-sanpo.jp/H20\\_training/H20\\_eisei.htm](http://www.oita-sanpo.jp/H20_training/H20_eisei.htm)

受講お申し込みはこちらからどうぞ

<http://www.oita-sanpo.jp/mail/kenshu.cgi>  
=====

■カウンセリング研修

時間:18:30～20:30  
=====

▽5月13日(火)

会場:大分産業保健推進センター 会議室

「事例検討」 渡嘉敷 新典(基幹相談員)

▼6月10日(火)

会場:大分産業保健推進センター 会議室

「積極的傾聴のグループワーク」 渡嘉敷 新典(基幹相談員)・佐用 槇子(特別相談員)

カウンセリング研修のページ

[http://www.oita-sanpo.jp/H20\\_training/H20\\_cau.htm](http://www.oita-sanpo.jp/H20_training/H20_cau.htm)

受講お申し込みはこちらからどうぞ

<http://www.oita-sanpo.jp/mail/kenshu.cgi>

=====  
■全職種対象研修

時間:14:00～16:00

会場:大分産業保健推進センター 会議室  
=====

▽5月29日(木)

「海外赴任者の疾病予防対策」 三舟 求真人(外部講師)

★単位数 基礎研修:前期 2 生涯研修:更新 2

全職種対象研修のページ

[http://www.oita-sanpo.jp/H20\\_training/H20\\_all.htm](http://www.oita-sanpo.jp/H20_training/H20_all.htm)

受講お申し込みはこちらからどうぞ

<http://www.oita-sanpo.jp/mail/kenshu.cgi>

平成20年度 産業保健研修会トップページ

[http://www.oita-sanpo.jp/H20\\_training/H20top.htm](http://www.oita-sanpo.jp/H20_training/H20top.htm)

---

■ ■ 新着情報 ■ ■

新着図書のご案内

■資料番号:0-75

平成19年版 環境白書(大分県)

■資料番号:1-319

医療事故を防ぐ(労働科学研究所出版部)

■資料番号:1-320

「安全バカ」奮戦記 企業内安全衛生管理者の活動記録(労働科学研究所出版部)

■資料番号:1-321

産業医学いまむかし 日本産業医学の100年(労働科学研究所出版部)

■資料番号:1-322

実践エラーマネジメント 医療事故事例から組織的対応を考える(労働科学研究所出版部)

■資料番号:1-233

すぐできる安全衛生マネジメントシステム(労働科学研究所出版部)

■資料番号:3-80

感染症リスクと企業リスクマネジメント(労働科学研究所出版部)

■資料番号:3-81

産業保健ハンドブックIV じん肺 ～臨床・予防管理・保障のすべて～(産業医学振興財団)

■資料番号:7-154

労働の生産性 桐原茂見の労働科学(労働科学研究所出版部)

■資料番号:7-104

メンタルヘルスケア実践ガイド ～手法を理解して、事例で体験する～(産業医学振興財団)

本書は、厚生労働省の指針等に示された対策のすすめ方について、実際に現場で働く産業医や担当者の方々が、どのように理解し、どのように活動し、どのように成果のある対策を実行するかという実践的メンタルヘルス対策の最新のハンドブックです。

また、本書内の豊富な事例は、個々の事例にどのように対処すればよいかを実際にみられた事例について臨場感を持って記述されています。成功例と失敗例から大いに学んで下さい。

図書・ビデオ・機器等の貸し出しにつきましては、こちらからどうぞ。



<http://www.oita-sanpo.jp/kasidasi/2008kasidasi.htm>

---

## ■ ■ 所長からのメッセージ ■ ■

### 新入社員の皆様へ

若葉が目に眩しい季節となりました。期待に胸ふくらませて入った会社、夢と期待に満ち溢れた企業人としての生活、社会人としてのこの一月は、如何でしたか？これまでの学生生活とは明らかに異なり、親や学校から庇護された生活から、自立へ、個人から組織集団へ、自由気ままから束縛へ、そして、友達関係から上下関係のある縦社会へと面喰うことも少なくないと思います。

まだまだ、あなた方の生活は、今始まったばかりです。「自分の思うことは、すべて正しい」、「言いたいことは、なんでも言う」、「やりたいことは、なんでも好き勝手にやる」では、なかなか通りません。自分の意見や行動に反論されたり、批判されると、人格を否定されたとばかりに、「切れる、ふてくされる、落ち込む」となりがちです。好き嫌いが、はっきりしていること、自分の考えを持つことは、大事なことです。しかし、もう皆さんは、子供ではないのです。自分の置かれている立場と相手のことも十分考えて、冷静に話し合う習慣を身につけて下さい。あなた方は、未来を担う、期待される少子化時代の貴重な宝物なのです。これから起こる、これから直面するすべてが、これからの人生の栄養分となって、免疫力を養い、飛躍のためのバネとなります。職場の先輩も、あなたを育ててくれた両親も、あなたが今考えていること、悩み苦しんだことを体験し、乗り越えてきているのです。

私事で恐縮ですが、わたしは、戦時中に生まれ、戦後の物資も乏しい時代に育ってきました。すべてが、今よりも恵まれていなかったため、ある意味では、良かったと思います。兄弟も多かったので、子どもの頃から耐えるのが、当たり前で、弟と妹をおんぶして面倒を見るのも当たり前、きつくても頑張るのが当たり前、病気をしても我慢するのが当たり前でした。中学3年生の時のことですが、受験の1週間くらい前、「風邪をひいて鼻詰まりがするから苦しい」と母に言うと「人のことは、分からん、苦しければ、病院に行きなさい」と母は一言。戦後の農村のことで地元には、耳鼻科などあるはずがありません。仕方なしに、自分で色々考えて鼻詰まりをなくす方法を自分で編み出しました。母も、当時は、そう言う以外にはなかったし、自立心を育成しようとしたのだと思います。

また、校則を守らない生徒に対し、恩師の往復ビンタ(手のひらで頬を叩くこと)は、当たり前の時代でした。先生の手も、さぞかし痛かったことと思います。生活の水準、社会の規範が、今と違っていたと言えばそれまでですが、50歳代の皆さんのお父さんの時代は、そんな時代でした。そんな時代の教育を受けた人たちが、皆さんの上司や幹部の人の中にもいるはずですが、今なお、考え方や教え方の違いが、多様であるのが実社会の姿となっています。最初は、分からないのが当たり前です。挫けず、恐れず進んでください。何があっても、皆さんは、全員、期待の星であることに、間違いありません。皆さんは、職業人であり、その道のプロフェッショナルとなる人です。社会に責任を持つ存在です。人間だから、時には、失敗もあるでしょう。しかし、ある時には、失敗は、企業の存亡に係るだけでなく、あなた自身、あるいは、同僚の命に係ることも少なくありません。積極的に学び、知識と技術を早く身につけ、それぞれの会社の社風にはやく慣れてください。一日も早く、企業人として一人前となり、ご両親から自立し、陰に陽に支えてくれた社会にお返しをしなければなりません。

これからは、更に、聴き上手、耐え上手および、話し上手となり広い視野を身につけてください。強く逞しい精神力を養い、楽しく生きがいのある、しかも頼られる企業人となってください。そして、家庭を持ち、社会の持続的発展に貢献してもらいたいと心より願っております。

大分産業保健推進センター  
所長 三角 順一



※メールアドレスの変更、配信停止、ご意見・ご感想は、[info@oita-sanpo.jp](mailto:info@oita-sanpo.jp)までお願いします。  
皆様のご意見をお待ちいたしております。  
今月も最後までお読みいただきまして、ありがとうございました。



発行:独立行政法人 労働者健康福祉機構  
大分産業保健推進センター  
<http://www.oita-sanpo.jp>

